

Flower ~輝け！最高の笑顔！~

立冬が過ぎ、暦の上では冬になりました。木々の葉も見事に色づき、赤や茶色、黄色や黄緑のグラデーションが美しく映えています。その美しい環境の中で13日（金）に泉小中学校の文化祭を行いました。例年、町の文化祭と合同で開催していましたこの行事は、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、町と本校それぞれ形を変えて行いました。



中3 劇「12人の大切なもの」

泉小中学校文化祭

輝いた泉の子どもたち



R2.11.18発行
文責：副校长

運動会から引き継いだテーマの通り、小中学生の子どもたちは学習したことと一緒に出し切り、笑顔で文化祭を終えました。小学1・2年生は「ぐじぐも・スマミー」の国語の教材を合同で劇にしました。緊張しながら懸命気持ちを込めて発表してくれました。緊張しながらも、覚えた台詞を一生懸命気持ちを込めて発表してくれました。3年生と4年生の「いずみんにしかられる」では、「泉町のいいところ探し」として町の特産品（柚子胡椒や豆腐の味噌漬けの作り方）について調べたことを劇にして発表しました。中学2年生は「職業講話を通して学んだ事」までに山女魚塙（樅木）の黒木智光様、地域振興センターの坂梨伸一様（柿迫）をゲストティ

ふるさとに誇りと愛着を

伝統芸能の発表は、小学六年の子どもたちは、学習したこと等々思いを聴いて、それぞれが考えたことを発表しました。中学3年生は「12人の大切なもの」と題して家族の絆をテーマにした手作りの劇に取り組みました。講師としてお招きして、講話を聞いたときには、これまで歩んでこられた道のりや、ふるさとを誇りに思う気持ち、経験から学ばれたこと等々な思いを聴いて、それぞれが考えたことを発表しました。中学3年生は「12人の大切なものの」と題して家族の絆をテーマにした手作りの劇に取り組みました。講師の方々としてお越しいただいてきましたが、都合で来られないときは、中学2年生の先輩が先生役として指導に当たりました。去年と同じ内容を希望した子どもと、今年新しくチャレンジした子どもが混在する中で、優しく丁寧に教える先輩の姿は私（副校长）の目に新鮮で微笑ましく感じました。特に、時間を見割いて遠くから指導に来てくださる講師の先生方もおられて、本当にありがたく思います。

時間を見割いて遠くから指導に来てくださる講師の先生方もおられて、本当にありがたく思います。その方々の、熱心な御指導のおかげで子どもたちは見る見る上達していきました。きりつと引き締まつた表情で太鼓のバチを持ち、一心不乱に太鼓を打つ表情、鈴と鉦を持って呼吸を合わせて華麗に舞う姿、太鼓を持った集団で優雅に移動しながら踊る姿等に日本固有の伝統芸能の素晴らしさを感じました。

学校に勤めましたので、樅木に伝わる伝統芸能にほんの少しですが触ることができました。ご存じの方も多いかと思いますが、樅木に伝わる「樅木神楽」は古くから地元の人々に愛され、大切に継承・保存されています。「神樂が人を繋ぐ」と言つても

- ◆講師の方々◆
- 【泉姫鬼山太鼓】 森崎明子様、森山キヌ子様
寺川直繁様、久保圭様
- 【岩奥神楽】 森星博子様、岩本きよみ様
塚本清美様、村上マチ子様
- 【歌唱指導（五家荘唱歌）】 村橋亮子様

過言ではないほど世代を超えた人々のつながりや地域のつながりは強く堅いものになっていますと感じました。本校の子どもたちは、地域の歴史ある伝統文化を学ぶ機会があり、それは他校にはない強みだと思います。この貴重な経験を生かし、自分に自信とふるさとに誇りと愛着を持つてほしいと思います。

立冬が過ぎ、暦の上では冬になりました。木々の葉も見事に色づき、赤や茶色、黄色や黄緑のグラデーションが美しく映えています。その美しい環境の中で13日（金）に泉小中学校の文化祭を行いました。例年、町の文化祭と合同で開催していましたこの行事は、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、町と本校それぞれ形を変えて行いました。

伝統芸能を学ぶ

伝統芸能の発表は、小学六年から中学一年生までの児童生徒が行いました。本番に向けての練習は10月8日のオリエンテーションを皮切りに、主に毎週木曜日に小中学校が時間割りを行つてきました。指導は、ほぼ毎回、講師の方々にお越し下さいましたが、都合で来られないときは、中学2年生の先輩が先生役として指導に当たりました。去年と同じ内容を希望した子どもと、今年新しくチャレンジした子どもが混在する中で、優しく丁寧に教える先輩の姿は私（副校长）の目に新鮮で微笑ましく感じました。特に、時間を見割いて遠くから指導に来てくださる講師の先生方もおられて、本当にありがたく思います。

時間が割いて遠くから指導に来てくださる講師の先生方もおられて、本当にありがたく思います。その方々の、熱心な御指導のおかげで子どもたちは見る見る上達していきました。きりつと引き締まつた表情で太鼓のバチを持ち、一心不乱に太鼓を打つ表情、鈴と鉦を持って呼吸を合わせて華麗に舞う姿、太鼓を持った集団で優雅に移動しながら踊る姿等に日本固有の伝統芸能の素晴らしさを感じました。

学校に勤めましたので、樅木に伝わる伝統芸能にほんの少しですが触ることができました。ご存じの方も多いかと思いますが、樅木に伝わる「樅木神楽」は古くから地元の人々に愛され、大切に継承・保存されています。「神樂が人を繋ぐ」と言つても



「自立・協働・自信・誇りと感謝」に満ちた学校づくり



R2.11.18発行
文責：副校长

組みました。ユーモア溢れる演技で会場の笑いを誘いました。小学生の全員合奏「キセキ」も練習の成果がよく表れ、中学生の合唱も男女の声が響き渡つた。従来の伝統文化を継承する担い手（人々・組織）が減少するという課題を抱えています。その原因には過疎化・高齢化の進行による地域社会の人口の減少、日常のライフケースタルの変化や多様化など様々です。本校が取り組んだ伝統芸能も例外では無いようです。しかし、泉に伝わる伝統芸能は今回のように、地域の方をはじめ、様々な団体の方々が継承活動に力を尽くされ、今日に至つています。

ところで、全国に目を向けると、多くの農山漁村では、従来の伝統文化を継承する担い手（人々・組織）が減少するという課題を抱えています。その原因には過疎化・高齢化の進行による地域社会の人口の減少、日常のライフケースタルの変化や多様化など様々です。本校が取り組んだ伝統芸能も例外では無いようです。しかし、泉に伝わる伝統芸能は今回のように、地域の方をはじめ、様々な団体の方々が継承活動に力を尽くされ、今日に至つています。

世代を超えた繋がり